



自分たちの手でまちづくり、それが「コミ協」です

小学校区を基本とし、自治会を中心に、PTA、青少年育成協議会、民生・児童委員協議会など地域の様々な団体で構成されています。
この広報誌は新潟市地域活動補助金で発行しています。

発行 横越コミュニティ協議会
事務所 新潟市江南区横越中央1丁目1番2号
(老人福祉センター横雲荘内)
電話 025-385-4321

回覧



11月 5年生 球根植え



4月 6年生 チューリップ花摘み



11月 6年生親子でコサージュ作り



1月 ボランティアによるコサージュ作り

祝

ハッピー
コサージュ
プロジェクト
30周年

活動を支えてくれる 先生・地域のみなさま
ありがとうございました

個性的なコサージュができたよ!



令和4年度横越小学校卒業生
相楽 凜音

今年で三十周年になるコサージュ作りに私は参加しました。五年生から球根を植えるという作業があり、六年生ではその球根がチューリップとなった花びらを摘みました。

十一月頃には母と一緒にコサージュを作りました。私はあまり器用ではないので、一つ一つの作業を丁寧にやりました。思い描いていたコサージュではなかったですが、母と双子の碧音とともに一生懸命作った気持ちがこの不格好なコサージュに込められています。

そのコサージュをつけ、胸を張って卒業式に出たいです。協力してくれた皆さん、本当にありがとうございました。

「30年目のコサージュ作り」



令和4年度横越小学校6年生担任
杉山 緑

今年度でコサージュ作りも30年目を迎えたそうです。その節目の年に、子どもたちと「チューリップのコサージュ作り」を行いました。4月に「花摘み」を行いました。鮮やかな黄色のチューリップが一面に広がっている様子を見て、歓声が上がりました。それから、「漬け込み」「かくはん」「布こし」「布染め」などの作業を行い、11月には、親子でコサージュ作りをしました。温かい雰囲気の中、素敵なコサージュを完成させることができました。多くのボランティアの方々が、様々な場面で力を貸してくださいました。心から感謝申し上げます。

多くの方の想いが詰まったコサージュを胸につけ、立派に卒業していく姿を見るのがとても楽しみです。

活動報告

令和4年度

横越コミ協最重点事業

ハッピーコサージュプロジェクトとは

横越小学校の児童、先生方、保護者、地域が協働でチューリップの栽培を行い、花びらを集めて絹の生地を黄色く染めてコサージュを作り、3月の卒業式で胸に付けて出席します。

この活動は約30年前に、当時地域活動に尽力していた保護者の皆様が主体となり始めた活動です。

当時6年生だった児童達の中には、ご自身のお子さんと一緒にこのコサージュを作る方もいらっしゃると思います。

現在は伝統あるこのプロジェクトを横越コミュニティ協議会が受け継ぎ、活動を通して地域の繋がりを深め、地元横越への愛着や感謝の気持ちを育んでもらうと共に、協力して地域活動を継続する仕組みづくりを目的としています。



11月 6年生親子でコサージュ作り



沢山の思い出が詰まったコサージュを付けて卒業式を迎えたいと思います。

一緒に裁縫をする機会はないので、「上手くできな〜い!」と笑いあひながらの製作は楽しい時間でした。

コサージュ作りは2回目の参加となりましたが、今回は布染めボランティアから参加させていただきました。

令和4年度
横越小学校卒業生保護者 相楽 奈津美

このイベントは私の息子の学年が第二回目でした。最初はピンク色でしたが毎年改良されて、作りやすく素敵になっています。

親子で作る姿はいつも微笑ましいです。最近では男の子でも上手に縫っています。三十年も続けていることに感慨深いものがあると同時に感謝でいっぱいです。地域の方々、先生方、横越コミュニティ協議会と多くの人の手と和と愛の結晶、世界に一つだけの個性豊かなコサージュを胸につけて誇りを持って卒業式を迎えてほしいと思います。

昨年は孫がチューリップの球根を植えました。その布を頂いて数年前から双葉保育園の卒園式に木津のお茶の間のおばあちゃん達がつけて卒園生の胸にも輝いています。この伝統を長く長く続けてほしいと願っています。

コサージュ作り

コサージュボランティア 佐藤 和子



祝三十年!!
 広がる花咲くコサーージュの輪
 コサーージュボランティア 田中 久子

色鮮やかに咲き誇るチューリップの絨毯。かつて横越のあちらこちらで見られた春の風物詩です。カラフルで美しいチューリップ畑を見るたびに「横越に住んで良かった」と誇らしい気持ちになったものです。

我が子が小学後の卒業学年となり、「卒業式にはチューリップ染めの手造りコサーージュを!!」その想いから皆様のお力添えをいただき、学年行事の一つとして始まりました。地場産物への理解と共に郷土愛を育くんでほしいと願い、毎年継続され早三十年が経ちました。

球根の植付、生育、開花、染色、その過程一つ一つを子ども達に知ってほしいと、今では五年生で球根の植付、六年生で染色とコサーージュ作り、二学年をまたいだ活動となっております。



「コミ協や地域住民の皆様への熱い想いが重なってこの活動が長きに渡り継続されていることに、只々感謝でいっぱいです。

諸事情によりチューリップ畑が少なくなっている昨今ですが、郷土の横越チューリップが今後も生かされるべく、この活動が広がっていくことを願っています。

11/18(金)
チューリップの球根植え
 横越小学校5年生 高山 美瑛

わたしは初めて球根を植えました。球根はミニトマトぐらいの大きさをしていて、たまねぎみたいな形をしていました。球根の上と下をまちがえないように心がけながら植えました。植える時は二人一組で作業しました。土だらけになった体そう着をみて、わたしは がんばったあかしたと思えました。きれいなチューリップをみるのが楽しみです。



11月 5年生 球根植え



春が来るのが
 楽しみじゃな

学校の前がチューリップ畑になります!



コミ協重点事業「ハッピーコサーージュプロジェクト」のチューリップ畑がこの4月から横越小学校前に広がります。

今まで阿賀野川河川敷公園で咲いていたチューリップですが、子どもたちに花の成長過程を見せたり、お世話をさせてあげたいという先生方の想いから、この度用水路を埋めた土地を土地改良区より貸して頂き球根を植えました。

しかし、工事終了後の土地という事もあり大小さまざまな石ころがたくさん埋まっていた球根を植えられる状態ではありませんでした。授業の合間に子どもたちが石拾いを

してくれたりコーディネーターの鈴木さんがトラクターで何度も耕してくれて、球根を植えられる畑へと生まれ変わりました。

みんなで協力して作り上げたチューリップ畑を地域の皆様にも存分に楽しんでほしいと思います。またこれまで活動を支えてくれたボランティアの皆様、先生方、地域コーディネーターの方々、そして保護者の方々には感謝申し上げます。

30周年を迎え、ますます地域に根付いた活動をこれからも続けていこうと思います。



10/15(土)

ピカピカ大作戦に参加して

横越中学校 教頭 中川 秀太

3年ぶりのピカピカ大作戦に横越中学校から生徒64名、教職員11名参加しました。横越中学校の清掃箇所は、道路脇を照らす街灯91基です。4人1組でその一基一基を丁寧に洗い、3年分の汚れを落としました。近所の人から「ありがとう」「お疲れ様」と労ってもらい、生徒にとっても、また私たち教職員にとっても、自己有用感と横越愛を育むよい機会となりました。

このような地域のイベントは、学校と地域との絆を深める絶好の機会です。横越中学校は地域とともにある学校として、地域清掃をはじめ、地域の各種イベントに積極的に参加し、横越地区を盛り上げていきたいと考えています。



横雲通りにある街灯を清掃。

10/15(土)

街灯へ感謝を込めて

横越中学校2年 茅原 穂ノ花

この地域の安全と安心のために、夜道を明るく照らしてくれる街灯。あまり気にすることがなかったのですが、よく見ると蜘蛛の巣や苔などですごくよごれていました。あまりの汚れに初めは躊躇しましたが、いつもお世話になっているし、横越の景観をもっと良くしたいと思い、全力で掃除しました。終了と言われても「こやつたら!」と惜しむほど夢中になりました。

このピカピカ大作戦を通して部活の友達はもちろん一緒に活動した先生とも仲良くなれました。掃除はネガティブなイメージが多いですが、このように仲間と協力して楽しみながらやると掃除へのイメージも変わってくるかなと思いました。

10/15(土)

ピカピカ大作戦に参加して

横越ライオンズクラブ 会長 串田 修平

恒例の横越コミュニティ協議会主催の街路灯・地下道の清掃活動が令和4年10月15日土曜日に行なわれ、総勢約160名のボランティアの方々が参加されました。

横越ライオンズクラブとして、お茶の寄贈と交通誘導員役の4名が参加しました。中学生のボランティアが運動部を中心に齋藤横越中学校長以下約60名と言う多勢の生徒が参加してくれた事には感銘を受けました。

旧国道4号線の街路灯始め、JA新潟かがやき横越支店前の地下道の清掃に皆さん一所懸命取り組み、汗を流しました。中学生は4〜5人でチームを組み、街路灯によじ登って街路灯の内側にスポンジの棒を入れ、蜘蛛の巣や苔を取り払つ



参加して下さった横越ライオンズクラブの皆様
左から山本さん、串田さん、宇野さん、林さん、今井さん



活動を見守る林さん(左)

ていました。背丈より高い所のブラッシングに苦労していたようでした。横越ライオンズクラブ員や交通指導員による交通誘導係も、歩道と車道の間にある街路灯作業の中学生を遠巻きに見守り、車道を走る車の誘導に注意深く汗を流しておりました。

私は昨年も横越ライオンズクラブとして参加しましたが、今年が多勢のボランティアのお陰で作業も計取り事故もなく無事に終了しました。終了式には、お茶とおやつ(横越梨)をもらう中学生の姿に笑みがこぼれておりました。



開会式の様子



中学生が3年振りに参加できたのじゃ

新年のご挨拶

江南区長 坂井 玲子



あけましておめでとーございます。

横越コミュニティ協議会の皆様には、日頃より地域の活性化や安心・安全にご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

昨年の区長就任以来、横越地域で様々な体験をさせていただいております。特に豊かな食文化には驚きました。農産物はもちろんのこと、阿賀野川の伝統的な鮭料理をはじめ、しじみ、モクズガニなどの恵みも豊富で、いずれもとても美味しかったのが印象的です。また、9月の横越商工大祭は大変な賑わいで、棧俵(さんばいし)神楽や踊りなども披露され、素晴らしい歴史と文化が地域の皆様によりしつ

かりと継承されています。横越地域のこれら多彩な魅力を、より多くの人に知ってほしいと考えています。

さて、令和5年度から新潟市総合計画の新たな計画期間がスタートします。総合計画とは、新潟市の目指すまちづくりのあり方を示すすべての計画の基本となるもので、8年ごとに策定しています。総合計画の一部として、江南区の将来像や目指す方向性を示す「区ビジョン基本方針」が含まれています。区の将来像である「緑と調和した、賑わいと安らぎのあるまち」を目指し、皆様からいろいろな教えていただきながら、江南区の発展に取り組んでまいりますので、引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、横越コミュニティ協議会の益々のご発展を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願いたします。



9月5日 区長懇談会にて

亀田縞タスペトリーを 設置しました

当コミ協が指定管理をしている老人福祉センター横雲荘に亀田縞タスペトリーが設置されました。

これは新潟市江南区の伝統的な綿織物である「亀田縞」が今以上に地元で認知、浸透し、そして地域アイデンティティとして確立することを目指すため、亀田縞のタスペトリーを亀田縞利用促進協議会で作成し、区内の店舗や施設等に設置することで亀田縞を日常的に目にする機会を創り出すことを目的とした活動です。

横雲荘にお越しの際はぜひじっくりとご覧になってください。



足元も亀田縞

老人福祉センター横雲荘
住所／新潟市江南区横越
中央1-1-2
(横越出張所となり)
TEL / 025-385-4321
開館時間／午前9時～
午後5時
休館日／月曜日、祝日、他

横断歩道が設置されました

令和4年10月に第四北越銀行横越支店様前交差点に横断歩道が2本設置されました。

ここは周りに主要な施設が多く、また子どもたちの往来が多いことで横断歩道が長年熱望されていましたが、この度当コミ協と地域住民と連名で江南警察に陳情して実現しました。地域の方から設置されて本当に良かったとお声を数多く頂きました。

当コミ協ではこのような地域での課題解決に努めさせていただきます。何かあれば当コミ協事務局までお知らせください。



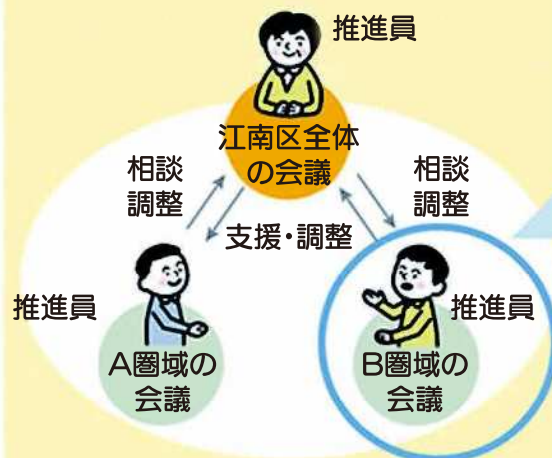
大江山・横越圏域

支え合い のしくみづくり

少子高齢化社会の中で、いつまでも住み慣れた横越地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを目指し、住民同士の支え合い、助け合い活動を支援しています。

地域の団体や福祉関係者、行政等と協力して取り組み、今回は活動の様子を紹介します。

支え合いのしくみづくり推進員



01 地域の茶の間交流会

「地域の茶の間」とは、子どもから高齢者まで、どなたで参加できる居場所です。大江山・横越地域で茶の間を運営している代表者同士の交流を目的に、「地域の茶の間交流会」を開催しました。コロナ禍で工夫している取り組みや日頃運営で気をつけていることなど情報交換を行い、茶の間の運営に活かしています。



02 地域の茶の間交流会

「木津のお茶の間」は、木津地域研修センターにて毎月1回(第2月曜10:00～12:00)に開催しています。参加者はおしゃべりを楽しんだり、体操や健康講話を聞いたりと交流しながら楽しんでいます。今回は、新潟医療生協の理学療法士にお越しいただき、自宅で行える転倒予防の体操を教えてくださいました。



03 見守りのチェックシート

支え合いのしくみづくりでは、隣近所が気軽に声を掛け合える安心な地域づくりを目指し、「見守りのチェックシート」を作成して地域に配布しています。見守りのチェックシートを自治会内で配布したい方は、用紙を印刷しますので、事務局までご連絡ください。



支え合いのしくみづくり会議



どんな人の協力があれば解決できるのかな？
商店街やスーパーの人に相談してみようかな？

会議の構成員例
推進員、地域コミュニティ協議会、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、地域包括支援センター、区、ほか

04 横越について語る会

今年度支え合いのしくみづくりでは、横越中学校で開催された「横越について語る会」に参加しました。SDGs(持続可能な開発目標)をメインテーマに、横越地域をよりよくするためにはどのような取り組みが必要なのか、地域の各団体の方々が生徒と語り合いました。そのような中、支え合いのしくみづくりとしては、「高齢者の困り事」をテーマとし、高齢者は日頃どのようなことに困っているのか、それを解決するにはどのような取り組みが必要なのか、若い世代の生徒の目線で一緒に考えました。



支え合いのしくみづくりとは

地域での支え合い活動を進めるため、江南区内と中学校区ごとに推進員を配置し、様々な地域の団体と協力しながら、地域の助け合い活動を支援しています。

横越コミ協からはこの二人が構成員として参加しています。

困りごとは遠慮なく相談してください



横越コミュニティ協議会
会長 佐藤正明



横越コミ協委員
山本美幸
(NPO法人えんでは理事長)

横越地域と共につくる “支え合いのしくみづくり”

平成29年度から新潟市内の各地域で支え合いのしくみづくりがはじまりました。

「困ったときはお互い様」と言い合える地域を目指し、関係団体と共に取り組んでいます。

気軽に集まれるお茶の間を立ち上げたい、雪かきやゴミ出し等の助け合い団体を立ち上げたい、そんな地域の支え合いのしくみづくりをお手伝いします！

地域のみなさんと一緒に“あったらいいな！”を形にしませんか？お気軽にご連絡ください。



推進員 樋口大輔

大江山・横越圏域 支え合いのしくみづくり

事務局 社会福祉法人いなほの郷福社会

TEL 080-5962-0924

【編集後記】



横越コミュニティ協議会 事務局長
山本卓也(えんでばよこごし)

令和4年度コミ協だよりができました。今年度も新型コロナウイルスによる影響が大きい年度となりました。しかしながら各方面で緩和が進み、コミュニケーションが取りやすくなってきていると思います。令和5年度5月8日からは感染症の分類が5類に引き下げられることから、様々な活動が活発に行われ、以前の活気に戻るかと思えます。

しかし感染対策はしっかりと講じながら当コミ協も新年度は各行事を開催していこうと思っています。5月の総会での委員同士の交流会も企画しています。委員での親睦を深め、地域とのつながりを大切にしていける年にしていきたいと思っています。

そして江南区自治協議会まちづくり部会と協力して「よこごしマップ」の作成も終了しました。新年度には皆様にお渡しできると思います。よこごしを楽しく散策できるように案内してくれるマップとなっていますので、お楽しみに！

またコミ協だよりを製作するにあたり、各方面の方々より寄稿頂きました。お忙しい中快く寄稿していただき大変ありがとうございました。来年度以降も読んで楽しいと思ってもらえる紙面を作りたいと考えています。寄稿を依頼された際はご協力をよろしく願っています。

令和5年度も横越コミュニティ協議会をよろしく願っています。

横越コミュニティ協議会



横越コミ協
これからもよろしく
お願いします！

よこごし安心安全見守り事業

見守り分野では子どもたちの通学路で安心安全を見守っている方々に交通安全旗を寄贈しました。その時に着用している安全ベストと帽子も新調しました。日々の見守りに役立ててもらっています。



通学路の見守り



横越小学校前で十数年、通学路の見守りをして
られている永井国男さん

事業報告
令和4年度



安心安全委託事業

令和4年度は仮設トイレ2基と交通安全棒、安全ベストと帽子を買いました。防災分野はこれまでいつ来るかわからない災害に備えて発電機等をそろえて来ましたが、今年度は生活には欠かせないトイレを備えました。

地域での防災訓練などで展示して広く皆さんへの防災意識向上の一助にお役立て下さい。



万一のときに
活躍するのじゃ



貸し出し連絡先

横越コミ協事務局 山本

※よこごしコミ協だよりをご要望の方は、横越コミュニティ協議会事務所まで取りに来てください。

脱！コロナ



横越コミュニティ協議会
会長 佐藤 正明



日頃、当コミ協の活動にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、コロナ禍の続く中、計画された事業も前年度に続き縮小される中、横雲通りピカピカ大作戦は中学生や企業団体含め約150名の参加を頂き実施できました。また当コミ協が指定管理運営委託をしている「老人福祉センター横雲荘」は、コロナ関連の休館日はなく、毎日大勢の方々が来館されており、筑後35年の横雲荘は設備の老朽化により、空調機の入替替え工事約2ヶ月の間利用者には不便をおかけいたしました。そして小学校前の阿賀用水路跡地を土地改良区から借用して学校園にするための準備を行い、昨年11月には5年生がチューリップの球根を植えました。

コミ協会議が開けない現在、新年度の計画はまだ未定ですが、夏には横雲荘の改修工事を行います。お風呂のボイラーの入替替えと貯水タンクの設置工事があります。利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解を賜りたいと思います。

そしてコミ協は地域の課題解決に向けて活動しておりますので、皆様方のご理解とご協力をよろしく願っています。



9月5日 区長懇談会